

令和4年 第3回府中市環境保全活動センター検討調整会 議事録

■日 時：令和4年6月27日（月）午後2時～

■場 所：本庁北庁舎3階 第3会議室

■出 席：（敬称略）

（委員）（9名）室 英治、塚原 仁、増山 弘子、山田 義夫、表 伸一郎、
小西 信生、成瀬 こずえ、石川 伊智郎、森嶋 正行

（事務局）（3名）田中 啓信、田口 敦、塚原 二郎

■欠 席：（敬称略）

（委員）（1名）吉武 考三郎、

■議 事

1 報告

① 令和4年度第2回検討調整会議事録 → 了承

②・③については省略

2 議事

① 府中市環境保全活動センターの運営等に関わる検討

前回、市から提案のあった活動センターの運営等に関わる検討を基に皆さんの意見を出してください。

◇・環境保全活動センターの認知度が低い。

・各団体に対して、こういうことをやりたいから協力してくださいとただ待っているのではなく、こちらから行かなくてはいけないと思う。ただ黙って待っていても何も始まらない。いろんなことをやっている団体があるので引き込んだほうがいい。センターはぜひ、皆さんの力が必要だということをPRしたほうがいい。

◇・環境保全活動センターをどういうふうにやっていくということをもっと明快にしたらい。また、拠点作りが必要。

・環境保全活動センターがどういうことをやっているか、あるいは、環境保全活動センターに頼めば、こういうことをやってくれるということを、原点に戻って、何をやるかを明快にしたうえでやる、そうするとサポーターの方もこういうことをやっているのであればお手伝いできると思ってくれるのでは。

◇・やっていることの中身をきちんとPRできているか。やろうとしていることではなくて、「10年間こういうことをやってきたんですよ、ぜひご参加

ください」という話でないと、何をやっているのという話になってしまう。
・市民協働まつりなどで、1枚のボードにこういう活動をやっていますよとPRできる具体的なものを出して、見てもらった人にいい活動しているね、私たちも参加しないとイケないねと思わせるものを作ればいい。認知度というのはそこからでないと始まらない。

◇・前回の市からの説明で、もう検討調整会は解散してもいいのかなという感じがした。環境保全活動センターのあり方について、法人化や外のどこかに拠点を設けるといったことなどを4、5年かけて検討してきたが、この前の結論としては、外には置かないし法人化もしないということだった。市長に答申を出した結果がその結論なのであれば、もう検討することがない。

・環境保全活動センターの規則には、サポーターによる会議を設置するということは元々書いてある。それなのであれば、環境保全活動センターの中でやっている広報部会や学習部会が運営に関する会議をやればいい。検討調整会で何をするのかについて、我々は委員を任命されたというだけで、中身については何をやるか書いてないので、このまま続けても、学習部会の二番煎じになってしまう。むしろ今の学習部会の人たちを検討調整会に指名して、その中でやってもらえたらいいのではないか。

◇・府中市の環境に対する取り組みは、ほかの行政に比べて市民の方たちが積極的に参加されている印象を持っている。仕事柄、いろんな行政の話を知ることが多いが、そこが環境としては魅力的な市だと思っている。

・今、環境審議会でも民・行政・事業者、市民で一緒に取り組んでいこうと環境基本計画を策定している中で、環境保全活動センターを活用していくという文言が入っている。もし、この検討調整会を解散するとなったときに、その役割を学習部会や広報部会が果たせるのか。せっかく市民の人たちが参加する機会やNPOで活動している方たちが多いと思うので、それを活かせる会議体ならば、私はそれがここだと思っているので、過去の実績と、やっていることとやれることを明確に、例えばホームページなどを作ってわかりやすくPRするとか。それをこの会議がやるのであればそこだし、そこでなくてもやれる組織体があるのであれば、そこに集約してもいいのかなと思う。

◇・私は一番最初から環境に関わっているが、10年間全く同じことの繰り返しだった。

・最初の5年間くらいのときに、環境基本計画に環境保全活動センターが載って、その時は何もなくてもうまくいっていた。私の解釈では、環境基本計画の中に飾りとして載せてあって、それは行政が担っていたのかなと思うが、

それでうまくいくのであればそれでもいいのかなと思っている。これだけ時間をかけて若干なりともお金をかけて市長に文書を作って出したにも関わらず、それに対しての答えがないのであれば、府中市の行政は環境のことはあんまり考えていないという結論なのかなと思う。とはいえ、対外的には大きいことを言っているのでチグハグ感がある。

- ・前の会議でバーチャルセンターの話があったが、環境基本計画の中に飾りとしてあるものがどこかと探されたときに、バーチャルセンターがウェブの中にあれば、格好はつくと思う。

- ・市として環境の取組をするかが明確になっていない。対外的に出す文章に書いてあるだけなので、そこら辺をしっかりと表示してもらいたい。

- ・環境保全活動センターの拠点について、緑幼稚園が候補に挙がっていたが、そこはどこが取ったのか、なぜ環境保全活動センターは場所を確保できないのか、一番問題とするところはなんなのかが知りたい。それが足りないから場所がもらえないわけなので、もし続けるのであれば、場所を続けるだけのミッションを行政から与えてほしい。

◇・検討調整会は、府中市の環境・保全をどう推進するか、そういう中心機能を果たす場所だと思っていたので、少し残念。

- ・環境保全活動センターが担う役割は非常に大きいと感じている。この場所から環境保全について発信するにはどうしたらいいかということを考える会議にしてくれたほうが参加しやすい。

- ・府中市は、環境まつりやポスターコンクール、多摩川清掃市民運動など、いろんな学校が関わる活動をしてきていて、今も子供の学習とあわせて取り組んでいる。市の環境保全活動をどのように市民に啓発し推進していくかを、実際やっていることをベースにしながら、さらに必要があるなら考えればいいし、そういうことを中心に考える会議に変えていく必要がある。そのうえでは、前回のバーチャルの提案は魅力的。フェイスブックやSNS関係を積極的に活用して、環境保全に関してもっと啓発していくなかで今やっている活動内容も啓発して、何かあれば声をかけてください、講師の派遣もできますよという市民運動につなげていくような発信をするのがいいと思う。

- ・先日、日本ガラパゴスの会の事務局長の講演を聞いた。ガラパゴスの人はごみが落ちていたら拾うのが当たり前、海岸に行くと海岸のごみを拾うのが当たり前、そういう教育を受けてそれが生活の一部になっている話だったが、こういう活動を環境政策課が考え、環境保全活動センターを活用してこのような講演会を開くとかを考えたほうがいい。こういう具体的な活動をやって、

環境をやりながら楽しまないとだめじゃないかと思う。楽しんでやりたいなと。

・環境保全活動センターを作るなら作ると決めていただいて、府中市の環境について何がしたいのか、どうしたいのか、府中市がきちっと考えないと。府中市の環境政策課がもっとビジョンを作らないといけない。

◇・環境保全活動センターができる話が出てきたときに、担当職員にどういったものができるのか聞いたが、まだ決まってないし何をするかわからない。これから検討していきますという話だった。何年かたってその後どうなりましたと聞いたら、特に進んでないとのことだった。環境保全活動センターのやるべきことはそのころからあまり明確化されていない。それが結局あいまいになってずっときてしまったように感じている。

・私が直接関わってきたのは、環境保全活動センターだよりで、その内容を拝見すると同じ内容が継続されていること自体はいいと思いますが、あまり代わり映えはしないという感想。

ご意見ありがとうございます。今日の意見を事務局から皆さんにメールで送っていただけますか。こういう意見が出ましたということで。それを皆さんのほうで理解していただいて、解釈していただいて次回の会議の時にもう一回まとめたものをベースに議論する格好にしようかと思いますが、いかがですか。

1時間で終わるのは構わないです。なにを求めている会議なのかははっきりしてもらわないと、1時間じゃ終わらないですよ。何か1つでもいいから結論を出さないと。何をここで結論出したいのか、そこをはっきりしないと、どこがゴールになっているかがわからないので、また次の会議をやっても、議事録まとめといてくださいで終わりになってしまいます。

ここで根本的に考えを変えていかないとダメかなという気がする。その辺を考えるべきだと私も思います。

それを、環境政策課が考えるべきなのか、ここに何かを求めているのか、はっきりしたほうがいいと思います。何を求められているのか、委任されましたけど。これは何か報告書を出すための会議ですか。

それは飾りですよ。

環境政策課が考えている会議の位置づけです。報告書をまとめて欲しいのですか。

⇒会議はこのまま続けても意味ないと思っています。そこで、ひとつ市の考

えを述べさせてもらいました。場所なども検討してきてどうしようもない状況がありましたので、市長の了解も得て出させてもらっています。何を求めているかというところですが、ご意見あったとおり、検討調整会の中で、皆さんとお話しするなかで、これからどうしていくかというのを考えていかなければいけないと思っています。それは、市が求めるというわけではなくて、皆さんこれまで経験されてきたお知恵をお借りしながらそういったところをまとめていくという必要があるかと思います。そこでひとつ提案としてバーチャルという形でださせていただきましたが、そのほかで、もし違う案があれば出していただきたい。各委員からのお話はありましたが、これまでの活動をPRしていくとともに、これから何をやっていくのか、どういう方向で進んでいくのかというところを会議の中で皆さんの意見を踏まえて考えていくような会議だと思っています。

よくわからなかったです。何をまとめるのですかここで。

⇒今後の保全センターの環境保全をどういうふうと考えていくかというところを皆さんで考えていくところだと思っています。

環境保全をどのように考えるのかをまとめるのですか。

⇒市民にPRする方法ですとか。

環境保全センターの具体的な活動内容について検討するのですか。

⇒そういうふうに思っています。

私が危惧しているのは、今環境基本計画を策定中なわけですが、ここの中で5人も審議会のメンバーになっています。先ほどお話があったように、環境基本計画は全部網羅されてきれいに書かれています。それで結果的に保全センターがやりますと書かれていて7割くらい投げている感じになっていて、それを責任もつ委員が5人入っていて出来上がったら、我々が責任とらないといけないのですよね。だから保全センターどうなっているかちゃんとやろうと言ったらここを出てきたわけです。みんなでやろうとする拠点は作れません、法人格もできませんって。それでなんで計画のなかにあれだけ保全センターがやりますって書けるのかという感じになるのです。

活動センターができたときに、府中の環境をどうしていくというトップからの意見がないのです。ただ環境を改善していきますということで。ですから、こういうふうにしていきますと明確にしていかないと。

一応あったのです。あの時は行政と市民と事業者とその間に入ってうまくいろいろとやりましょうと。環境に関して。市民の意見を持ち上げてそれを行政なり、事業者と話し合いをするというのが、活動センターの意味だった

のです。だから結局はアンケートをとっても、市民が何を考えているかはなんにもわかんなくて、それをわかるためには、環境活動センターが必要だという話だったのです。一番はじめに。それで活動センターとかいうのを作りましょうと、いろいろ規約とかを作ったりし動いてみたのですが、そのうちだんだん目標がすごく高尚なものになり、環境学習をみんなに教えましょうとかそういうふうに分割され、ちょっと曖昧になっていき、でも最終的には立場がしっかりしていかないから、場所が欲しい、何を欲しい、もっとしっかりした基盤を作りたいみたいに変わって行って、それもちょっとなしになって、また元に戻ったみたいな。要は市民の代弁者みたいな形に、環境の代弁者みたいな、そういうのになろうっていうのが一番はじめです。

環境保全センターができる前は、活動センターを作るなんて意見はなかったのです。それで市のほうで歴代の課長さんがいらっしゃるのですけど、最初のほうの課長さんの時代に、活動センターを作りましょうという話になったのです。そのときにセンター長をどうするかという話になったのです。それは、環境政策課のしかるべき人になるべきだろうという話になりました。検討調整会というのは、その諮問機関です。あくまで市民の代表やボランティア、学識の方々が意見を出し合って、保全センターを軌道にのせていくという話だったと思うのです。それが、若干だんだん色彩が弱まってきたというかあいまいになってきて、活動センターという組織の実態はないのです。検討調整会はありますが、保全センターはないです。保全センターを作るのであれば、キッチンと作っておいて、各部署からの代表が諮問をする委員会をやっていくという格好にしないと、組織として動かないと思うのです。ですから、市のほうでもその辺を検討いただきたい。ということで市から提案をいただきましたので、バーチャル的なお話、それを1つの提案としていいと思うのです。その辺の具体的な意見を、次回はずいぶん1枚のペーパーでいいので皆さんの意見を書いていただいて、時間は1時間とは限りません。結論がきちんと出るまで議論して、今日ご参加いただいた皆さんからの意見をまとめて、それをベースにして皆さんの意見を出していただいて、議論する場を作りたいと思います。

いいと思うのですが、私はまず市がちゃんと作らないといけないと思うのです。環境保全センターを作るなら作ると決めていただいて、どういう府中市の環境について何がしたいのかどうしたいのか、府中市がきちっと考えないと。府中市の環境政策課がもっとビジョンを作らないと。ビジョンがないと何も話し合いができないですよ。ビジョンがないまま話し合いだけさせ

てきたとすれば、これは非常に罪ですよ。

それは環境政策課ではできないだろうと思ったから市長に持ち上げますと。部長くらいと話してもまだ他の課があるか、市長から実施の命令が来るかと思っただら。

来ないですよ。市長に直接言っても来ないです。私は知っています。それは環境政策課がやらないからです。環境政策課が各課と連携とる必要があるのであれば各部の部長を巻き込んでやらないとけないことだと思います。多摩川清掃などは市民全体を巻き込んでやられている活動をしているわけで、もっとビジョンを出していただいて、府中をこうしようと環境政策課が夢を持ってくれないと。夢がないところに活動は生まれませんと思います。市民の人たちはそれぞれ思いがあると思います。ここは行政の仕事だと思いますけど。それがあって、皆さんいくらでも意見を言ってくれると思います。そのビジョンがないのに、議論だけしなさいといひ続けたとしたら、これは罪です。もっと東京都全体に発信しようとか、日本に発信してやるくらいの夢を持ってもらわないと。もっと府中市をアピールしようって、そういうのを市長に言えば、面白そうだねやってみようって言いますよ。もっと夢を環境政策課が作るべき。

⇒こちら側の姿勢が明確にできていなかった部分があったかと思ひます。なので、府中市としての考えを、活動センターの事業と多摩川清掃であり、自然保護係・管理係で実施しているものが、環境政策課の中でそれぞれ進めている部分があるので、そういうのをセンターの活動としてまとめて一つにやっていくとかそういう方向性とかを考えていかないといけないと、市の姿勢として思っていますので、今後課内で検討して、検討調整会の場でも考えを示していく必要があると考えています。

そういうのを出してもらえると、きっといろんな意見が出て、もっとこうしたほうがいいとか、そういう話しあいになっていくと思ひます。何もない中で活動されている皆さんが、どうなっているのかという話し合いだと、申し訳ないしもったいないと思ひます。

事務局からメールをいただいて、それに対してご意見をいただいて、次の委員会で出し合うことにしたいと思ひます。

今日皆さんから出た意見をメールで発信しますので、それを見ていただいて、かつ前回の府中市の資料を見ていただひいて、そのうえで皆さんのお考えをまとめていただひきたい。それを次回に出し合うということにします。

■次回開催予定日

令和4年度 第4回府中市環境保全活動センター検討調整会
(通算132回)

日 時：令和4年7月21日(木) 午後1時30分～

場 所：北庁舎3階 第5会議室